



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月2日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 久米 俊樹 (TEL) 0798-56-5010
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	177,627	10.6	6,300	4.9	6,100	△9.3	3,644	△19.2
2023年3月期第3四半期	160,546	3.9	6,003	△15.7	6,724	△14.6	4,507	△16.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,345百万円(△4.4%) 2023年3月期第3四半期 6,637百万円(24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	55.26	—
2023年3月期第3四半期	68.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	257,303	103,364	39.6
2023年3月期	226,907	100,439	43.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 101,763百万円 2023年3月期 98,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	21.00	—	24.00	45.00
2024年3月期	—	22.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	253,000	12.4	12,000	29.1	11,700	18.2	7,300	△0.2	110.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	70,000,000株	2023年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,028,319株	2023年3月期	4,087,841株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	65,948,036株	2023年3月期3Q	65,882,033株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化や不安定な中東情勢などの影響による原材料・エネルギー価格の高騰や、為替相場の急変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、コロナ禍を経て、さらなる価値観の多様化や、企業と従業員の関係性、働く環境にも変化が起きております。

こうした中、当社グループは、2030年を志向した長期経営計画[SG-Vision2030]のPhase 1に当たる、中期経営計画[SG-2023]の最終年度を迎え、企業価値向上に向けた諸施策を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は207,161百万円(前年同期比9.8%増)、売上高は177,627百万円(同10.6%増)となりました。なお、当第3四半期末の受注残高は286,898百万円(同18.5%増)であります。

損益面は、増収に伴い、営業利益は6,300百万円(同4.9%増)となりましたが、為替差益の減少等に伴い、経常利益は6,100百万円(同9.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,644百万円(同19.2%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。

(特装車)

車体等の製造販売は、受注は前年同期並みの水準となり、売上は増加いたしました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注は増加し、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は84,527百万円(前年同期比3.1%増)、売上高は72,257百万円(同8.8%増)となり、営業利益は1,502百万円(同79.4%増)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は117,995百万円(同19.8%増)であります。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、受注、売上ともに増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は増加し、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は37,743百万円(前年同期比30.0%増)、売上高は28,599百万円(同0.5%増)となりましたが、営業利益は1,925百万円(同11.1%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は55,187百万円(同23.2%増)であります。

(産機・環境システム)

メカトロニクス製品は、真空製品の受注が減少したものの、売上が増加した結果、分野全体でも受注は減少し、売上は増加いたしました。

また、環境関連事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は30,827百万円(前年同期比5.9%減)、売上高は29,056百万円(同18.1%増)となりましたが、営業利益は1,836百万円(同19.0%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は45,977百万円(同26.7%増)であります。

(流体)

需要が堅調に推移し、受注及び売上が増加した結果、当セグメントの受注高は21,329百万円(前年同期比2.2%増)、売上高は15,867百万円(同10.7%増)となり、営業利益は1,483百万円(同26.2%増)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は12,585百万円(同2.1%減)であります。

(航空機)

防衛省向けは、受注、売上ともに増加いたしました。

また、民需関連は、受注は前年同期並みの水準となり、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は15,041百万円(前年同期比7.7%増)、売上高は22,588百万円(同35.4%増)となり、営業利益は1,754百万円(同36.5%増)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は35,641百万円(同9.6%減)であります。

(その他)

建設事業において、受注が増加したものの、売上が減少した結果、当セグメントの受注高は17,692百万円(前年同期比77.7%増)、売上高は9,257百万円(同7.7%減)となり、営業利益は412百万円(同15.5%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は19,511百万円(同90.3%増)であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、売上債権や棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて30,395百万円増加し257,303百万円となりました。負債は、法人税等の納付などはあったものの、短期借入金や仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べて27,471百万円増加し153,939百万円となりました。純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて2,924百万円増加し103,364百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.5%から39.6%に低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2023年10月31日に公表いたしました通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。売上高と営業利益のセグメント別内訳は、本決算短信と同時に開示しております四半期決算補足説明資料をご覧ください。

2024年3月期 通期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	265,000	12,000	11,700	7,300	110.65
今回修正予想 (B)	253,000	12,000	11,700	7,300	110.65
増減額(B-A)	△12,000	—	—	—	—
増減率(%)	△4.5	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2023年3月期)	225,175	9,293	9,902	7,313	111.00

※2月以降の前提となる為替レートは、1米ドル=135円としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,745	19,423
受取手形、売掛金及び契約資産	62,812	71,928
電子記録債権	8,604	18,068
商品及び製品	4,805	6,679
仕掛品	24,122	29,762
原材料及び貯蔵品	24,874	29,224
その他	4,920	4,842
貸倒引当金	△395	△344
流動資産合計	152,491	179,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,030	19,882
その他（純額）	23,458	24,638
有形固定資産合計	42,488	44,521
無形固定資産		
	2,702	2,560
投資その他の資産		
その他	29,241	30,653
貸倒引当金	△17	△15
投資その他の資産合計	29,224	30,637
固定資産合計	74,415	77,719
資産合計	226,907	257,303

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,310	31,746
1年内償還予定の社債	800	800
短期借入金	6,372	34,377
1年内返済予定の長期借入金	2,210	12,202
未払法人税等	2,337	591
工事損失引当金	3,168	2,636
その他	26,323	25,419
流動負債合計	68,522	107,774
固定負債		
社債	800	200
長期借入金	42,234	30,336
退職給付に係る負債	12,973	13,527
その他	1,937	2,101
固定負債合計	57,945	46,164
負債合計	126,467	153,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,657	15,686
利益剰余金	70,236	70,810
自己株式	△5,838	△5,753
株主資本合計	96,037	96,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	1,810
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	2,116	3,192
退職給付に係る調整累計額	335	411
その他の包括利益累計額合計	2,709	5,038
非支配株主持分	1,692	1,600
純資産合計	100,439	103,364
負債純資産合計	226,907	257,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	160,546	177,627
売上原価	135,497	150,609
売上総利益	25,048	27,017
販売費及び一般管理費	19,044	20,717
営業利益	6,003	6,300
営業外収益		
受取利息	54	86
受取配当金	172	233
持分法による投資利益	201	-
保険配当金	165	183
為替差益	508	158
その他	131	161
営業外収益合計	1,234	824
営業外費用		
支払利息	174	325
持分法による投資損失	-	92
休止固定資産費用	91	111
借入手数料	8	6
債権流動化費用	49	241
その他	191	247
営業外費用合計	514	1,024
経常利益	6,724	6,100
特別利益		
固定資産売却益	-	76
投資有価証券売却益	282	-
特別利益合計	282	76
特別損失		
固定資産処分損	84	42
特別損失合計	84	42
税金等調整前四半期純利益	6,922	6,134
法人税、住民税及び事業税	1,289	1,735
法人税等調整額	533	457
法人税等合計	1,823	2,193
四半期純利益	5,099	3,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	591	296
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,507	3,644

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,099	3,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△445	1,176
為替換算調整勘定	1,107	944
退職給付に係る調整額	579	76
持分法適用会社に対する持分相当額	296	206
その他の包括利益合計	1,538	2,404
四半期包括利益	6,637	6,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,907	5,973
非支配株主に係る四半期包括利益	729	372

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	62,166	25,989	8,323	10,251	8,288	115,019	10,025	125,045	—	125,045
アジア	1,572	2,474	10,611	2,801	—	17,458	—	17,458	—	17,458
北米	3	—	1,294	779	7,491	9,569	—	9,569	—	9,569
その他	2,680	—	4,382	507	901	8,472	—	8,472	—	8,472
顧客との契約 から生じる収益	66,423	28,463	24,611	14,339	16,682	150,520	10,025	160,546	—	160,546
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	66,423	28,463	24,611	14,339	16,682	150,520	10,025	160,546	—	160,546
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	19	7	1	6	—	34	1,619	1,653	△1,653	—
計	66,442	28,471	24,613	14,345	16,682	150,554	11,645	162,199	△1,653	160,546
セグメント利益	837	2,166	2,267	1,175	1,285	7,730	488	8,219	△2,215	6,003

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2,215百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,221百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	68,693	26,964	10,699	11,490	11,864	129,712	9,257	138,970	—	138,970
アジア	1,152	1,634	5,411	3,011	—	11,210	—	11,210	—	11,210
北米	—	—	11,998	870	10,102	22,971	—	22,971	—	22,971
その他	2,410	—	947	494	622	4,474	—	4,474	—	4,474
顧客との契約 から生じる収益	72,257	28,599	29,056	15,867	22,588	168,369	9,257	177,627	—	177,627
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	72,257	28,599	29,056	15,867	22,588	168,369	9,257	177,627	—	177,627
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	8	2	10	—	31	2,897	2,929	△2,929	—
計	72,266	28,607	29,059	15,878	22,588	168,400	12,155	180,556	△2,929	177,627
セグメント利益	1,502	1,925	1,836	1,483	1,754	8,502	412	8,915	△2,615	6,300

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2,615百万円には、セグメント間取引消去△87百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,527百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。